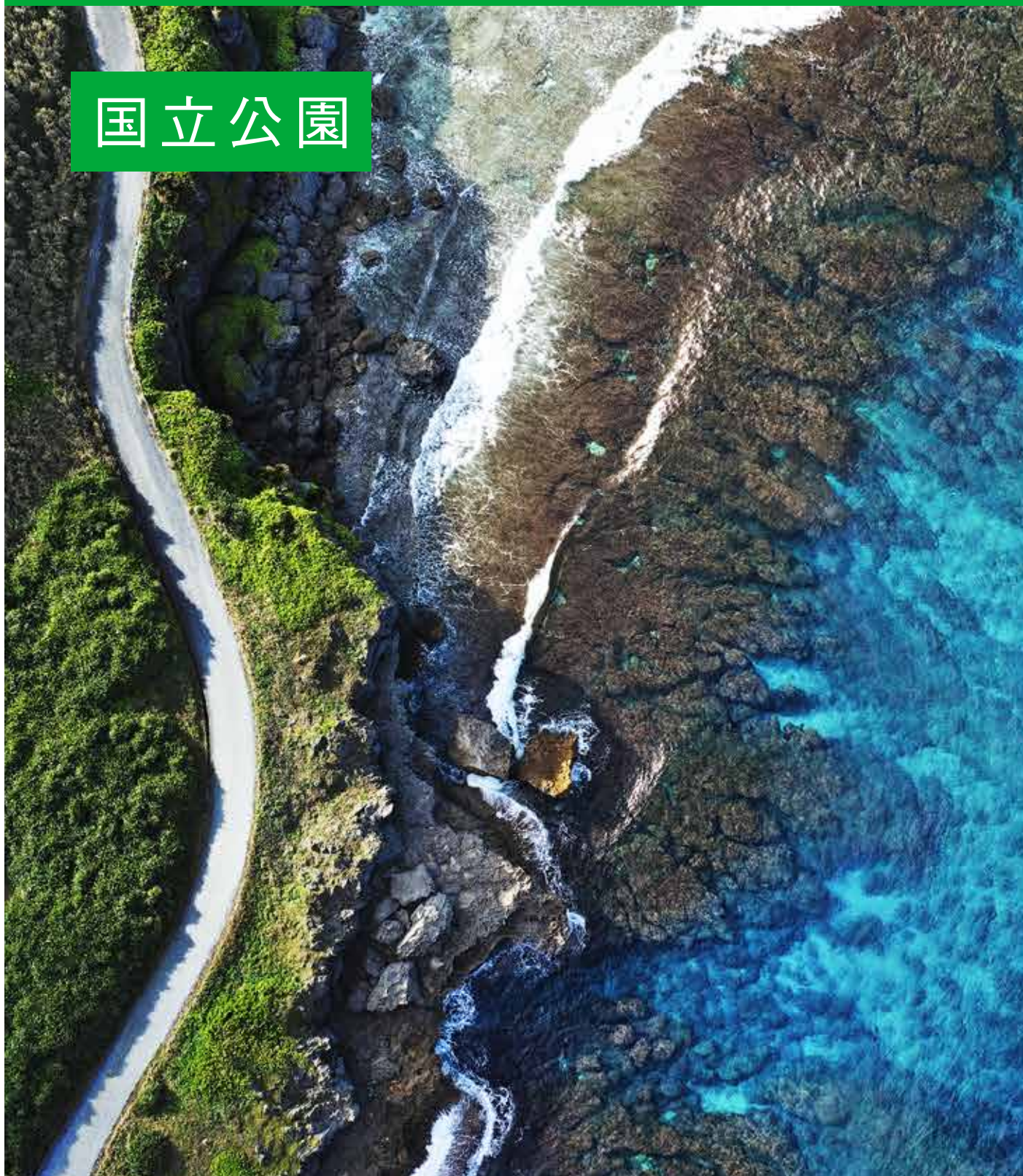


平成29年3月7日、国内34カ所目の国立公園として「奄美群島国立公園」が誕生しました。本町では、ウミガメが集まる西原～国頭岬の海岸沿いが指定されました。

琉球石灰岩の岩盤が波の浸食によりえぐり取られてできた、潮吹き洞窟の「フーチャ」は、琉球石灰岩のごつごつしたダイナミックな岩場沿いを歩くことができます。フーチャ周辺は、ハマユウが自生する美しい海岸シナフアや、白砂の輝くシャーシ浜など、プライベート感のある小さな浜が点在しています。

## 国立公園





# 特集 町制施行80周年



## 町制施行80周年 記念ロゴ

なめらかで柔らかな  
曲線をループさせ、  
「つながり」や「結い」、  
「持続性」や「循環性」  
を表現するとともに、  
「やさしさ」や「安心」  
といった印象を与え  
るデザインとした。

和泊町は、昭和16年5月1日に町制を施行して以来、今年度80周年を迎えました。多くの試練や困難を乗り越え、80周年という記念すべき節目を迎えることができたのは、これもひとえに、先人の英知やたゆみない努力、そして何よりも町民の不断の力強い支援と協力、深い郷土愛の賜物であります。

人口減少や少子高齢化、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大、地球温暖化をはじめとする環境問題やグローバル化の進展など、私たちを取り巻く環境は、これまでとは比べ物にならない速さで変化してきています。

様々な世代が暮らすこの町には、暮

らしのアイデアがたくさんあるはずで  
す。そのアイデアを持ち寄り工夫しながら、楽しく価値観を転換し、丁寧に暮らすことで、接続可能な社会の実現に近づきます。限りある資源を未来に残すためにも、次世代を思いやる豊かな心が必要です。

町では、自然環境にも社会環境にも配慮できる、豊かな心を育む教育や事業に取り組み、「人と未来を笑顔でつなぐ、心豊かな和の町、和泊町」実現のため、これからの未来につながる持続可能な社会を築く政策に重点的に取り組んでいきます。



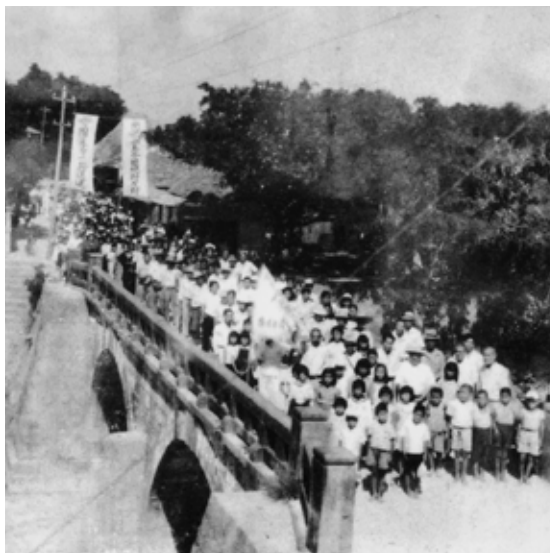
## 町制施行 80周年記念式典

令和3年5月1日、防災拠点施設やすらぎ館にて、町制施行80周年記念式典が執り行われました。式典は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催となりました。



# 写真で 振り返る

# 80 年史



1952年(昭和27年)10月  
日本復帰運動

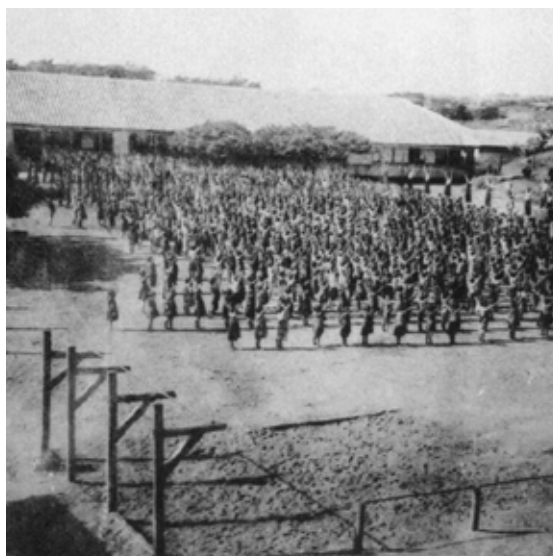
日本復帰協議会が結成され、復帰運動が盛り上がった。南洲神社で復帰祈願祭を行い、その足で全員が町長の見送りのため和泊港へ向かった時の写真である。

その時・・・  
その時・・・  
その時・・・  
その時・・・

1959年「週刊文春創刊」  
1958年「東京タワー完成」  
1955年「国産初自動式電気釜発売」  
1953年「奄美群島が日本に復帰」

1940

1950



1941年(昭和16年)5月  
町制を施行

現在の役場の場所には当時、和泊町尋常小学校が建てられていた。当時の庁舎は現在の和泊郵便局の場所にあった。写真は当時の和泊町尋常小学校。

その時・・・  
その時・・・

1945年「第二次世界大戦終戦」  
1941年「真珠湾攻撃」



1956年(昭和31年)5月  
沖永良部バス運行開始

1台250万円(現在の貨幣価値で1500万円)のバスを3台購入。知名・和泊間の乗合バスの運行を開始。



その時・・・

1980年「日本のモスクワ五輪不参加が決定」

その時・・・

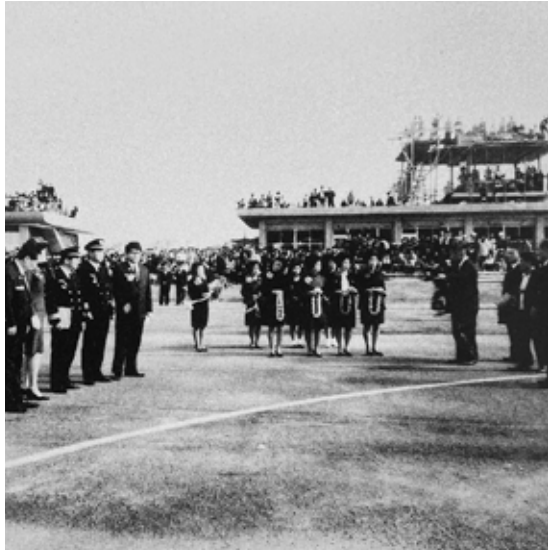
1979年「ソニーがウォークマンを発売」

その時・・・

1978年「新東京国際空港（現成田国際空港）開港」

その時・・・

1977年「国民栄誉賞が創設され王貞治が受賞」



### 1969年(昭和44年)5月 沖永良部空港開港

開港当時、滑走路の長さは1,200mであった。初めに東亜航空のヘロン機が就航し、その後YS11が運行されるようになった。

その時・・・

1968年「ポケットベルサービス開始」

1968年(昭和43年)1月  
町章・町民歌・町民憲章制定



その時・・・

1964年「東京オリンピック開催」

その時・・・

1963年「大河ドラマ第一作『花の生涯』放送」

1980

1970

1960



### 1977年(昭和52年)9月 沖永良部台風襲来

最低気圧907.3mb※の大型台風が全島に壊滅的被害を及ぼす。トタン屋根が紙のように飛び、家屋が簡単に倒れるほどの威力。90億5千万円の被害であった。

※ mb(ミリバール) / 現在の単位はhpa(ヘクトパスカル)

その時・・・

1972年「沖縄返還」

その時・・・

1970年「大阪万博開催」



### 1966年(昭和41年)10月 第一回町民体育大会開催

初めての開催地は和泊中学校となった。優勝は和泊校区Aチーム。当時は校区対抗で、昭和49年から字対抗になった。



**1982年(昭和57年)3月  
第1回フリージアジョギング大会開催**

北は東北から南は沖縄までのジョギング愛好家約400人が快走。スペシャルゲストはベルリンオリンピック1万メートル4位の村社講平選手。

その時・・・

1986年「バブル景気始まる」

その時・・・

1987年「携帯電話サービス開始」



**1995年(平成8年)4月  
サンサンテレビ開局**

当時の町長(泉町長)によるスイッチオンで本放送が開始された。県内自治体初のケーブルテレビ局。

1980

1990

2000



**1984年(昭和59年)1月  
「広報わどまり」第100号**

1966年(昭和41年)から発行されている「広報わどまり」が100号を迎える。100号を記念してカラー印刷の表紙となっている。

1995年(平成7年)11月  
映画「男はつらいよ」沖永良部ロケ



**2002年(平成14年)3月  
和泊港旅客ターミナル完成**

船の形をイメージして作られた。待合所や切符売り場はもちろん、沖永良部を含む奄美の島々を紹介するタッチパネル式モニターも設置された。



その時・・・

2002年「沖縄返還30周年」



2005年(平成17年)4月  
タラソおきのえらぶ開設

施設前で行われた式典には、町内外から関係者1200人余りが参加。オープンイベントのゲストとして歌手の橋幸夫さんが来町。

その時・・・

2011年「東日本大震災」



2018年(平成30年)3月  
大河ドラマ『西郷どん』沖永良部島ロケ

2018年1月から放送が開始された大河ドラマ。キャスト・スタッフ合わせて約95名が来島。エキストラとして町民も参加した。

2010

2020

2021



2017年(平成29年)11月  
天皇皇后両陛下下行幸啓

地方事情御視察のため初のご来島。「日本一のカジュマル」や「サタグルマでの黒糖作り」などを御視察された。

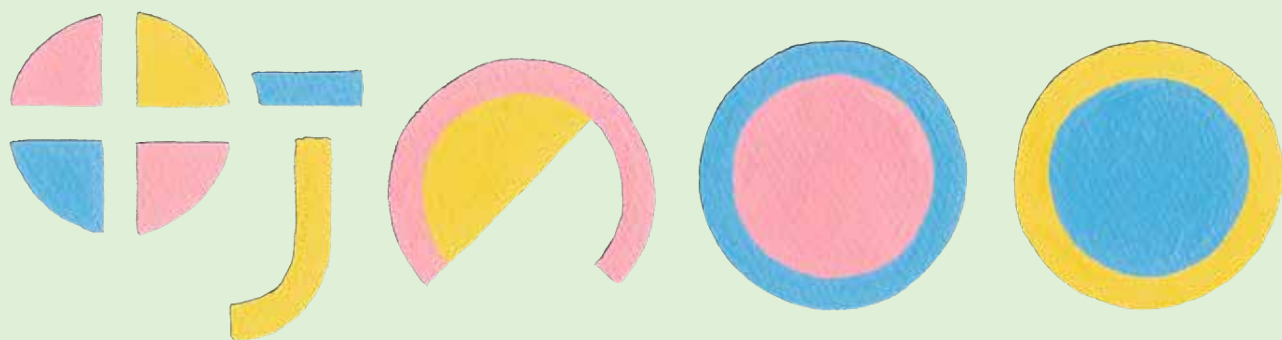


2019年(令和元年)5月  
和泊町役場新庁舎完成記念式典

間仕切りのないオープンな庁舎となり、会議室やホールの利用がしやすくなる。キッズスペースも設けられた。

その時・・・

2020年「新型コロナウイルス感染症の流行」



# 町制施行 80周年を記念して、 新たなシンボル、 町の「鳥」「蝶」「魚」が 指定されました!

町の鳥「リュウキュウキジバト」



いと言われている。

【分布】

キジバトの亜種で奄美諸島、琉球諸島など、平地から山地の林に生息する。和泊町内では、どこでも見ることができ、電線に止まっていた姿をよく見かける。

【その他】

オス・メス一緒に子育てすることから夫婦円満の象徴とも言われているが、自然界で多くの子孫を残すために、繁殖期ごとに違ったペアができる。クビにある青灰色と黒色のうろこ模様が、亀の甲羅に見えるからか、英名には「Eastern Turtle Dove」と「Turtle=亀」という単語が使われている。鳴き声は、全国的には「デデポーポー」、島内では「クークーヒツジ」と言われている。

- 【標準和名】リュウキュウキジバト(琉球雉鳩)
- 【方言名】カラバートウ
- 【分類】ハト目ハト科の鳥
- 【学名】Streptopelia orientalis stimpsoni
- 【選定理由】

町内どこでも見ることができ、親しみがあふれる。つがいで見られることが多く、オス・メス一緒に子育てすることから夫婦円満の象徴と言われる。家に巣があると縁起が良い。



## 町の蝶「ツマベニチョウ」



### 【分布】

九州南部から八重山諸島に分布。海外では東南アジアなど熱帯地域に分布している。沖永良部島では、大山大山でよく見かけ、和泊町内では、食草のギヨボクが多い後蘭や谷山でよく見かける。

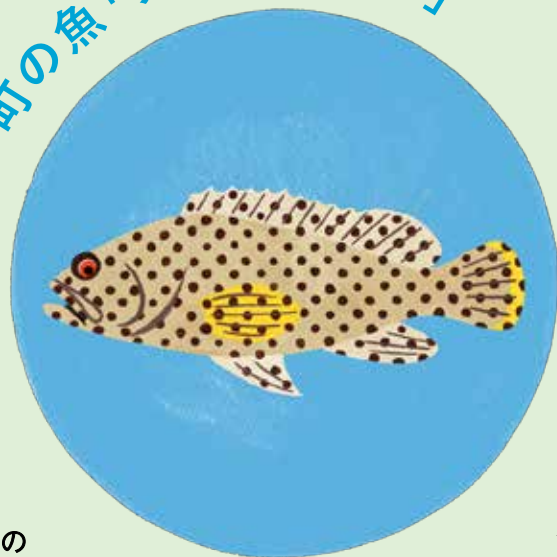
### 【その他】

シロチョウ科では世界最大級。開張約9-10cm。前翅先端には三角形の黒い部分があり、その中に大きな橙色の紋をもつ。メスはオスよりも黒い部分が大きく、若干黒ずんでいる。オーストリアの研究チームが、成虫の羽、幼虫の体液に毒の成分を発見したとの報告がある。カエル、トカゲ、アリなど天敵からの防衛のため利用していると考えられている。触るだけなら問題はな

い。れている。

町内で見ることができ、白色がゆりの花、黄色がゆりのおしべの色に似ており、町章とも共通点がある。別名「幸せを呼ぶ蝶」と呼ばれている。

## 町の魚「カンモンハタ」



### 【分布】

たる南西諸島・小笠原諸島・三重県や和歌山県より南の太平洋沿岸に生息。特に奄美・琉球列島でよく見られる。

### 【その他】

英語名では「Honeycomb Grouper(ハニカムグループパーハチの巣模様のハタ)」と、見た目からとったユニークな名前がつけられている。周りの環境に合わせて体の色を変えするため、釣れた場所によって異なった体色を観察することができる。すべてメスとして生まれ、数匹の縄張りを作る。その中で最大の一匹がオスに性転換し、一夫多妻制のグループを形成し、繁殖活動を行う。高級魚に分類される。食用としてだけでなく、飼育すると人馴れしやすいことから観賞魚としても注目されている。

日本国内では黒潮の流域にある。食べても美味しく、幅広い世代に人気がある。

【学名】  
*Epinephelus merra*

【選定理由】  
磯釣りによく釣れ、親しみがある。食べても美味しく、幅広い世代に人気がある。

### 【分布】

日本国内では黒潮の流域にあ



町制施行 80周年記念  
航空自衛隊南西音楽隊  
ふれあいコンサート

令和3年12月11日 和泊中学校体育館



発行・編集 / 和泊町

〒891-9192 鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地

TEL:0997-92-1111

FAX:0997-92-3351



和泊町